

消化器外科 II に過去に通院歴がある患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

## [研究課題名]

膵体尾部切除を企図する門脈接触を伴う膵体尾部癌に対する至適 resectability 分類の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 平野 聡 消化器外科 II 教授

## [研究代表機関名・研究代表者名・所属]

京都府立医科大学 消化器外科 山本 有祐 助教

## [共同研究機関名・研究責任者名]

参加施設名	施設研究代表者氏名
長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	坂本 太郎
杏林大学付属病院	阪本 良弘
愛知県がんセンター	清水 泰博
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	石津 寛之
自治医科大学附属さいたま医療センター	力山 敏樹
金沢大学医学部附属病院	田島 秀浩
東京女子医科大学病院	山本 雅一
順天堂大学医学部附属順天堂医院	水野 智哉
九州大学病院	大塚 隆生
東北大学病院	海野 倫明
奈良県立医科大学附属病院	野見 武男

宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志
広島大学病院	上村 健一郎
大阪大学医学部附属病院	江口 英利
東京慈恵会医科大学附属病院	矢永 勝彦
富山県立中央病院	天谷 公司
静岡県立静岡がんセンター	上坂 克彦
東京医科歯科大学医学部附属病院	田邊 稔
福島県立医科大学附属病院	丸橋 繁
千葉大学医学部附属病院	鈴木 大亮
東京医科大学病院	土田 明彦
福山市民病院	日置 勝義
京都第二赤十字病院	谷口 弘毅
京都府立医科大学付属病院	生駒 久視
岐阜大学医学部附属病院	村瀬 勝俊
富山大学附属病院	吉岡 伊作
滋賀医科大学医学部附属病院	谷 眞至
新潟県立中央病院	青野 高志
福井大学医学部附属病院	村上 真
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	青木 秀樹
山形県立中央病院	櫻井 直樹
琉球大学医学部附属病院	高槻 光寿
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	伊志嶺 朝成
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院	吉田 信
新潟厚生連長岡中央総合病院	北見 智恵
市立函館病院	中西 一彰
日本赤十字社和歌山医療センター	安近 健太郎
和歌山県立医科大学附属病院	川井 学

[研究の目的] 膵体尾部癌に対して尾側膵切除を行う際の門脈接触に関する適切な切除可能性分類を再構築すること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000年1月1日より2017年12月31日までの間に当院で膵体尾部癌に対して尾側膵切除、または、腹腔動脈合併尾側膵切除を受けた患者さん

○利用する情報

1) 術前評価項目：年齢、性別、術前化学療法の有無、術前化学療法の内容、術前 radiation 併用の有無、Conversion surgery か否か、初回 CT 門脈接触（なし、180 度以下、180 度越）、術前化学療法後 CT 門脈接触（なし、180 度以下、180 度越）、初回 CT での SMA との接触の有無、初回 CT での CeA との接触の有無、初回 CT での CHA との接触の有無、術前化学療法後 CT での SMA との接触の有無、術前化学療法後 CT での CeA との接触の有無、術前化学療法後 CT での CHA との接触の有無、体重(kg)、身長(cm)、糖尿病治療の有無、HbA1c、化学療法前 CEA 値（減黄後）、化学療法前 CA19-9 値（減黄後）、手術前 CEA 値（減黄後）、手術前 CA19-9 値（減黄後）

2) 膵切除方法(DP, DP-CAR, 膵全摘)、リンパ節郭清、手術時間(分)、出血量(mL)、膵切除方法、膵断端被覆、SMA 周囲神経叢切除の有無、門脈合併切除の有無、門脈切除長(mm)、門脈切除方法、門脈再建時グラフト使用の有無、他臓器合併切除、CD-IIIa 以上の合併症の有無、CD-IIIa 以上合併症の詳細、ISGPF grade B,C 膵液瘻、grade B,C 胃内容排泄遅延、腹腔内膿瘍、grade B,C 腹腔内出血、門脈血栓症、門脈閉塞、門脈血栓症、閉塞の治療詳細、在院期間、術後 30 日以内の再入院、術後 30 日の再手術、腫瘍の主座（膵体部、膵尾部）、腫瘍径(mm)、前方浸潤、後方浸潤、動脈浸潤、神経叢浸潤、他臓器浸潤、門脈または上腸間膜静脈浸潤、脾静脈浸潤、リンパ節転移、リンパ節転移回数、膵断端癌遺残、膵剥離面癌遺残、腹腔内洗浄液細胞診、傍大動脈リンパ節転移

3) 術後評価項目：補助化学療法の有無、補助化学療法の内容、再発の有無、初回再発部位、再発確認日、再発後の治療、最終転帰確認日、生死、死亡日、死因

この研究は、全国 39 施設で実施します。上記のカルテ情報は、尾側膵切除の門脈接触に関する適切な切除可能性分類を再構築するために、研究事務局である静岡県立静岡がんセンターに電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2022年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定

できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 II 担当医師 浅野 賢道

電話 011-706-7714 FAX 011-706-7158